

## 平成 25 年度決算特別委員会（平成 25 年 9 月 20 日）教育委員会

### 1. 東京オリンピック選手団の誘致について

（北山議員）

先日、オリンピック・パラリンピックを東京に誘致することが出来たわけであるが、大会前の合宿やトレーニングセンターなど神戸で色々なスポーツ種目を誘致するべきと本会議で質問し、珍しく市長も非常に前向きな答弁であった。そしてこの問題については、教育委員会だけで本当にやっていけるのかと思っている。教育委員会にはスポーツ体育課があるが、「スポーツ体育局」や「スポーツ体育部」にしていくべきであると思っている。

そういう考え方に立ち、種目も決めていただいて、少なくともこの神戸の地域には 10 種目くらいの競技を呼んでくる、というくらいの意気込みで取り組んでいただけるのかどうか、お聞きしたい。

（雪村教育長）

委員ご指摘のとおり、9 月 10 日の本会議において、市長より、神戸市として東京オリンピック・パラリンピックにおける選手団のキャンプ地を誘致したいとかなりはっきりご答弁申し上げた。

神戸市は総合運動公園をはじめ、スポーツ施設が充実しており、施設的にも人的にもスポーツ資源が非常に恵まれていると考えている。また、1985 年のユニバーシアードなど複数の国際大会が開かれてきたことが評価され、神戸市は JOC と平成 20 年 12 月にパートナーシップ協定を結んでいる。これを締結している都市は全国で 17 都市とのことである。

そのような背景もあるので、2020 年の東京オリンピックでのキャンプ地の募集方法や時期など詳細はまだこれからだが、早々に東京事務所やスポーツ教育協会とも連携して、JOC など関係団体と連絡し情報収集を行いながら、キャンプ地として神戸市内のスポーツ施設を利用していただけるような誘致活動を行っていきたい。

（北山議員）

9 月 12 日の読売新聞を見ると、「神戸を世界に PR する絶好の機会であるとして、誘致の検討をはじめた。教育委員会のスポーツ体育課に担当職員を置いて、場所や競技の選定などについて日本オリンピック委員会などと調整を進めていきたい。」と書かれている。しかし、今のスポーツ体育課に職員を 3 人や 5 人増やしたところで駄目である。もっと大きな規模で増やしてやっていただきたい。ぜひともオリンピック・パラリンピックでは、神戸でこういった練習が出来たから優勝できた、となるよう頑張ってください、しっかりと結果を出していただくようお願いしたい。

## 2. 神戸の地名について

(北山議員)

神戸には大変美しい地名がたくさんある。しかし、最近の少子高齢化のために小中学校が統合をするが、その際の名前の決め方に問題があると、非常に遺憾に思っている。長田に「千歳小学校」、須磨に「大黒小学校」という学校があって、その2校を統合する際に、どんな綺麗な名前を付けてくれるのかと思っていたら、「大黒」の「だい」と「千歳」の「ち」を足して「だいち小学校」となってしまった。そうすると「大黒」とか「千歳」といった名前の由来がまったく消えてしまう。もったいないと思っている。皆さんがどういう風に思っているかは知らないが、私はこういった校名の付け方というのはおかしいと思っている。他都市ではどういう風になっているのかと関係者に聞いてみると、やはり校名というものを決めるということについては、安直であってはいけない、地域の歴史や文化、伝統といったものが受け継がれていく名前であればならないということで、文化人や地域の人も入れて検討しているのが普通である、とのことであった。神戸市はそういう風にはしていないと思っており、なんととっても「だいち小学校」という名前は本当にひどいと思っているが、どうか。

(弥城学校計画担当部長)

統合校をはじめとする新設校の校名の決定方法については、まず、対象の児童、保護者、地域の方々などを対象に、新しく誕生する新設校にふさわしい校名を考えていただくよう幅広くアンケートを行っている。もちろんその中には、地域の由来や地名を参考にさせていただきよう記載している。校名を書いていたあとにはその理由、どういう思いから書かれたのかについても聞いている。

その上でそのアンケート結果を踏まえ、PTA代表、地域の代表、各校長を委員として構成する検討会などにおいて、4・5件程度に校名の候補案を絞り込み、教育委員会に提案いただき、委員会内の新設校校名検討委員会において、地域の歴史など様々な観点から、校名の選定を行ったうえで、神戸市立学校設置条例の改正を行っている。

だいち小学校についても、同様の手続を経ており、両校は統合する前に交流するためのスポーツクラブを作っていたが、その名称が「だいちクラブ」であったこと、そして、大黒小学校・千歳小学校の頭文字である「だい」と「ち」をとり、大地に根を張るような大木のように育つよう願ってつけられたものである。

今後も、児童、保護者や地域の方々などの賛同が得られるよう検討していきたい。

(北山議員)

実際にそういう形で決めたということだが、決まった名前は「だいち小学校」であり「大黒」の「だい」と「千歳」の「ち」を取っているだけである。子どもたちが決めた、ということだが、子どもたちが決めたというところに問題があると思っている。

神戸市には歴史に由来した地名、残しておきたい地名がたくさんある。世界遺産を毎年決

めているが、神戸も「地名遺産」というものを作ったらどうか。兵庫区には「雪の御所」という地名があり、どんな素晴らしい所かと思って行ってみたら拘置所か何かしかなかったのではなかったか。地名は残すべきである。学校の校名にも地名が残っていてほしいし、

「長田東中学校」「長田西中学校」「長田北中学校」などと、「東南西北」となるようなおとんなんしやーべー粗末な決め方はしていただきたくない。これは私の願いである。ぜひとも地名の由来を大事にしていきたいと思う。